

スポーツ大学生の喫煙者率と喫煙についての意識の変化に関する一考察

村井 龍太郎 (生涯スポーツ学科 学校スポーツコース)

指導教員 川合 英之

キーワード：学内全面禁煙，喫煙，スポーツ学生

1. 緒言

びわこ成蹊スポーツ大学(以下, 本学)では, 2003年の開学当初から学内全面禁煙という取組を実施している. 本学はスポーツ大学であり, 他の大学に比べてスポーツや健康について興味・関心を持ち, 喫煙に反対する学生が多いと考えられる. しかし, 実際には本学の学生の中にも喫煙者はいる. 大学生にとって大学は1日の大半を過ごす場であり, 大学が全面禁煙であることは喫煙の防止に大きな影響を及ぼすことであろう. そこで本研究では, 学内全面禁煙に関して学生の意見・感想, また, 全面禁煙である本学に通うことでの喫煙者率や喫煙に関する意識などを調査し, 今後の学内全面禁煙の取組の推進に役立てようとするものである.

2. 研究方法

本学入学後の1年次から4年次までの経年的な喫煙者率の推移および喫煙意識の変化に着目して以下のとおりアンケートを行い, 分析を行った. また, 学内全面禁煙に関する感想および意見についても検討した.

- 1) 対象：本学の2013年度入学生
- 2) 期日：2013年(1年次)～2016年(4年次)の各年度の本学健康診断時(4月上旬)
- 3) 内容：毎年, 本学学生センターが実施している「タバコについてのアンケート調査」を使い, データの集計および分析は, 統計解析ソフトウェア SPSS を使用した.

3. 結果と考察

アンケートで過去1年間の喫煙行動について調べたところ, 表1のとおりとなった. 本学入学後の喫煙者率は, 年次進行で上昇していることがわかる. 2014年の2年次6.7%から2015年の3年次では11.8%に上昇しており, 成人して法律的に喫煙が可能になると喫煙者が増加すると推察される.

表1 喫煙率の変化

| | 前年1年間の喫煙率 | |
|-----------|-----------|-------|
| 2013年 1年次 | 13人 | 3.7% |
| 2014年 2年次 | 14人 | 6.7% |
| 2015年 3年次 | 21人 | 11.8% |
| 2016年 4年次 | 42人 | 15.5% |

4. 結論

本研究で, 喫煙者率の変化及び喫煙意識の変化について知ることができた. 学内全面禁煙が実施されており, 健康やスポーツについての講義が多くある本学に通うことにより, 喫煙率は減少していくと考えていたが, 喫煙者率は年次進行で上昇していた. 喫煙を始める者は周囲の環境に影響されることが分かったため, 喫煙防止教育の推進など, 本学の取組にとどまらず, 社会全体でさらに喫煙防止を呼びかけ, 広げることにより喫煙者は減少していくであろう.

引用・参考文献

- 青山喜典(2014) 喫煙行動に関する一考察. びわこ成蹊スポーツ大学卒業論文.
- 山際勇一郎・服部環(2016) 文系のためのSPSSデータ解析. ナカニシヤ出版.